



うつくCITY

こなん



活気と希望に満ちたゆたかで創造的なまちをつくるために



トピックス

- 9月議会定例会議決結果 2
- 一般会計・特別会計・企業会計決算 4
- 委員会審査報告 6
- 12人が一般質問 12

各地域の活躍の写真を募集しています。
詳しくは議会事務局まで

電話☎: 0748-71-2347

がんばるこなんびと



区民の防災意識を高めることを目的として「2018岩根東区防災フェス」が開催されました。体験コーナー(タンカ作り・水消火器・土のう運び・非常食試食など)

“HEART DE ぎかい”



市議会の仕組み(一)

議長 松原 栄樹

一、議案などの提出
次の三つのルートから提出された議案などを審議します。

① 市長からの提出議案、様々な事業に関する条例や予算などの議案

② 議員や委員会からの提出議案
(決議・意見書を含む)

③ 市民などから提出された請願・陳情

一、本会議

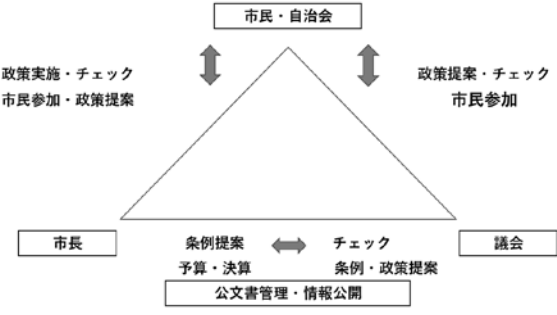
全議員が議場に集まり会議を行います。提出された議案などを審議し、議会の最終的な意思を決めたり、一般質問や代表質問を行います。

一、代表質問

会派の代表者が市長の一般選挙後の十二月議会定例会で行う所信表明や、毎年三月議会定例会で行う施政方針に対して、所信を質し、説明を求め疑問を質すものです。

一、議案質疑

委員会審査に先立ち、本会議で行う議案に対しての疑義を質すために行う発言です。



※ 市民・自治会、議会、市長の関係図

9月議会定例会

分類	議案名等	結果
補正予算	平成30年度湖南省一般会計補正予算(第5号) 【歳入歳出】それぞれ5億1213万6千円を追加 補正後の額213億627万9千円	○
	平成30年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ9572万円を追加 補正後の額51億1020万6千円	◎
	平成30年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号) 【歳入歳出】それぞれ6877万1千円を追加 補正後の額6億1016万1千円	◎
	平成30年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ1105万4千円を追加 補正後の額8億7712万5千円	◎
	平成30年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ8995万2千円を追加 補正後の額31億7261万円	◎
決算(4P参照)	平成29年度湖南省一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 219億526万8772円 歳出総額 215億6563万5275円 歳入歳出差引 3億3963万3497円を翌年度へ繰越	○
	平成29年度湖南省国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 58億6016万2342円 歳出総額 56億5092万1629円 歳入歳出差引 2億924万713円を翌年度へ繰越	○

分類	議案名等	結果
専決処分	専決処分の承認を求めることについて (専決第5号平成30年度湖南省一般会計補正予算(第4号)) 7月20日に地方自治法第179条第1項の規定により専決処分した平成30年度湖南省一般会計補正予算(第4号)について報告し、承認を求める。 歳入歳出総額の変更なし 総額207億9414万3千円 幼稚園施設整備工事 130万円 予備費 △130万円	◎
	湖南省附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について 湖南省自殺対策計画策定委員会を設置することに伴い、所要の改正を行う。	◎
条例	湖南省税条例等の一部を改正する条例の制定について 地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税の非課税範囲や基礎控除の見直し、大法人の法人市民税に係る電子申告の義務化、加熱式たばこの課税方式の見直しとたばこ税率の引上げ等について、所要の改正を行う。	◎
	湖南省家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布を受け、代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和、家庭的保育事業に対する自演調理に関する規定の適用猶予期間の延長、家庭的保育事業に対する食事の提供の特例に係る外部搬入施設の拡大について、所要の改正を行う。	◎
	題名の簡潔化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 湖南省の条例中、特に題名の長い2本の条例について整理を行う。	◎

分類	議案名等	結果
決算 (4P 5P 参照)	平成29年度湖南省下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 収益的収入総額 17億1290万1083円(税抜) 資本的収入総額 8億7085万2千円(税込) 収益的支出総額 16億8114万9666円(税抜) 資本的支出総額 15億7185万7357円(税込) 純利益 3175万1417円(税抜) (当年度末未処分利益剰余金から6500万円を建設改良積立金へ積立) 不足額 7億100万5357円(税込) (消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金および建設改良積立金で補填)	◎
	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 平成30年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員の再任について、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会に意見を求める。	◎
その他	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 平成30年11月17日をもって任期満了となる教育委員会委員の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会に同意を求める。	◎
	旧慣使用権の廃止について 岩根字南側3476番1の一部および3476番3について、道路整備事業に伴い道路用地とするため、地方自治法第238条の6の規定により旧慣使用権を廃止するにあたり、議会の議決を求める。	◎
	市道路線の認定について 新設認定 1路線	◎
	決議 2025年国際博覧会の誘致に関する決議	○

分類	議案名等	結果
決算 (4P 5P 参照)	平成29年度湖南省国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 5億1957万9443円 歳出総額 5億220万8283円 歳入歳出差引 1737万1160円を翌年度へ繰越	◎
	平成29年度湖南省後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 4億7984万6583円 歳出総額 4億6879万1810円 歳入歳出差引 1105万4773円を翌年度へ繰越	○
	平成29年度湖南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 30億4638万2448円 歳出総額 29億9106万5719円 歳入歳出差引 5531万6729円を翌年度へ繰越	○
	平成29年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計決算の認定について 収益的収入総額 4976万2730円 収益的支出総額 4876万4740円 純利益 99万7990円 (前年度末未処分利益剰余金1881万1958円に加算)	◎
	平成29年度湖南省水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 収益的収入総額 14億1402万6815円(税抜) 資本的収入総額 4億5732万2400円(税込) 収益的支出総額 13億4925万9232円(税抜) 資本的支出総額 6億7107万7307円(税込) 純利益 6476万7583円(税抜) 不足額 2億1375万4907円(税込) (消費税資本的収支調整額と損益勘定留保資金で補填)	◎

※◎全会一致で承認、可決、認定、可決及び認定、適認、同意 ○賛成多数で可決・承認

平成30年9月湖南省議会定例会 議案賛否

※議長は裁決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対

議案番号	件名	無所属の会 市民の力				誠心会				議会改革 ネットワーク		日本共産党 湖南省議員団		湖南省 公明党 議員団		無所属		
		望月卓	堀田繁樹	森淳	奥村幹郎	菅利紀	上野顯介	加藤貞一郎	小林義典	植中 都	赤祖父裕美	立入善治	松井圭子	桑原田美知子	細川ゆかり	藤川みゆき	大島正秀	大角道雄
議案第57号	平成30年度湖南省一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第62号	平成29年度湖南省一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案第63号	平成29年度湖南省国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案第65号	平成29年度湖南省後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案第66号	平成29年度湖南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
決議第1号	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

平成29年度一般会計・特別会計・企業会計決算 8会計の決算をすべて認定、可決及び認定

一般会計と4つの特別会計および3つの企業会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか慎重に審議を行いました。審議にあたっては執行部との間で、多岐にわたって詳細な質疑応答が交わされました。活発な審議の結果、その内容を適正なものと認め、いずれの会計決算も認定、可決及び認定しました。

会計名			歳入決算額	歳出決算額	差引額	結果
一般会計			219億526万8772円	215億6563万5275円	3億3963万3497円	○
特別会計	国民健康保険特別会計		58億6016万2342円	56億5092万1629円	2億924万713円	○
	国民健康保険診療所特別会計		5億1957万9443円	5億220万8283円	1737万1160円	◎
	後期高齢者医療特別会計		4億7984万6583円	4億6879万1810円	1105万4773円	○
	介護保険特別会計		30億4638万2448円	29億9106万5719円	5531万6729円	○
企業会計	訪問看護 ステーション 事業特別会計	収益的収支	4976万2730円	4876万4740円	99万7990円	◎
		資本的収支	0円	0円	0円	
	水道事業会計	収益的収支	15億1866万4056円	14億1925万3566円	9941万490円	◎
		資本的収支	4億5732万2400円	6億7107万7307円	▲2億1375万4907円	
	下水道事業会計	収益的収支	17億8428万8782円	17億3594万163円	4834万8619円	◎
		資本的収支	8億7085万2000円	15億7185万7357円	▲7億100万5357円	
	合計		364億9212万9556円	366億2551万5849円	▲1億3338万6293円	

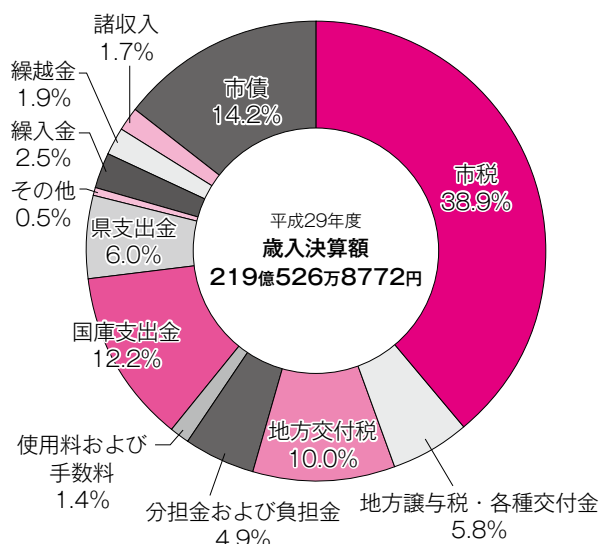
※◎全会一致で認定、可決及び認定 ○賛成多数で認定

平成29年度一般会計歳入歳出決算の構成

(歳入)

項目	決算額	構成比 (%)
市税	85億1067万5890円	38.9
地方譲与税・各種交付金	12億8411万3482円	5.8
地方交付税	21億8452万4000円	10.0
分担金および負担金	10億7472万4203円	4.9
使用料および手数料	2億9740万8196円	1.4
国庫支出金	26億6923万5456円	12.2
県支出金	13億2213万3361円	6.0
その他	1億1194万9755円	0.5
繰入金	5億4122万3675円	2.5
繰越金	4億1322万3405円	1.9
諸収入	3億6729万6349円	1.7
市債	31億2876万1000円	14.2
合計	219億526万8772円	100.0

平成29年度一般会計歳入決算グラフ



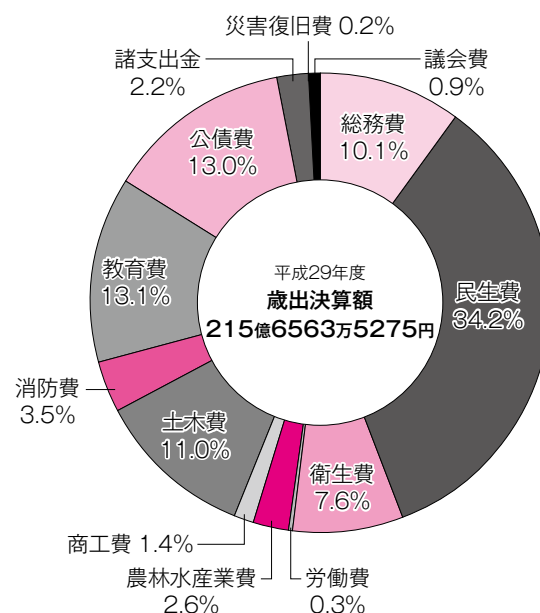
●平成29年度一般会計歳入歳出決算

歳入総額 219億526万8772円
 歳出総額 215億6563万5275円
 歳入歳出差引き残高 3億3963万3497円
 翌年度繰越額 3億3963万3497円

(歳出)

項目	決算額	構成比 (%)
議会費	1億8361万3685円	0.9
総務費	21億8178万9276円	10.1
民生費	73億8243万7630円	34.2
衛生費	16億3807万5686円	7.6
労働費	6871万8488円	0.3
農林水産業費	5億5449万7767円	2.6
商工費	3億504万5818円	1.4
土木費	23億7523万6361円	11.0
消防費	7億4586万658円	3.5
教育費	28億1459万7917円	13.0
公債費	28億878万5894円	13.0
諸支出金	4億6981万1359円	2.2
災害復旧費	3716万4736円	0.2
合計	215億6563万5275円	100.0

平成29年度一般会計歳出決算グラフ



平成29年度湖南市一般会計歳入歳出決算の認定

歳入総額は前年度比

5.4%増、歳出総額は前年度比5.8%増で歳出総額の予算に対する執行率は92.7%。翌年度繰越財源の7345万円を除く実質収支額は2億6617万円、単年度収支は4332万円の赤字となつています。

主な質疑

財政全体について

問 当初予定の事業が繰越しになるのは、職員不足が影響しているのではないか。事業に見合つた人員配置が必要ではないか。

答 市民ニーズに対応するため、現在の定員の中で、より選択と集中を進めていく。

問 今後、庁舎建設やJR駅改修等起債が考えられるが、財政への配慮は。

答 身の丈にあった事業を見極めて、財政を悪化させないようにしていく。

問 経常収支比率を下げる方策は。

答 義務的経費を下げるのは難しく、必要事業を見極めて、公債費の借り入れを可能な限り圧縮していく。

各部署の審査

総合政策部

○地域まちづくり協議会交付金事業

問 かねてから議論されてきた、まちづくり協議会と区・自治会との役割分担の明確化は。

答 区長会で、平成29年度に「区」のあり方検討部会」の設置検討を行い、平成30年度に設置し、すでに3回開催した。行政側では、平成30年度にまちづくり協議会、区・自治会にしてほしいことを整理する。

総務部

○戸籍住民基本台帳管理経費

問 証明書などのコンビニ交付は手数料が高いが、費用対効果は。

答 コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要だが、マイナンバーカードの所持者が伸び悩んでいるため利用者は増えていない。現在、経費の方が高いが、サービス観点の施策として取り組んでいる。

健康福祉部

○児童保育所運営事業

問 児童保育所の運営主体の会計管理の負担軽減策は。

答 会計管理先を検討している。児童数の増加に対しては、空き教室の利用や社会福祉法人との連携も検討している。

建設経済部

○地方特定道路新設改良事業
問 工事請負費の不要

額の多い理由は。

答 工事の縮小、入札不調、事業の繰越しなど。その中で平成30年度に繰越しとなった市道旧東海道線道路改良工事(柑子袋地先)は、平成30年6月に完了した。

教育部

○学校管理運営事業

問 学校施設の内部の老朽化の対策は。

答 長寿命化計画の策定を検討している。

○社会教育施設管理運営事業

問 市民学習交流センターの可動椅子収納部分などの修理時期は。

答 平成31年度の予算の範囲内で改修方向、早急に財政部門と協議する。全般に共通する質疑・意見としては、よく似た趣旨や交付金の種類が同じ事業は、部局間の連携、あるいは統合して、職員の負担軽減を図るべきではないか、議会の今までの事業評価結果を真摯に受け止め、次期予算に反映するような取り組みをしていただきたい、的確な予備費の充用と、法的に適合した予算の費目間の流用、さらに歳入確保と歳出削減の努力・工夫に取り組むこと、などです。

反対討論

経常収支比率が上昇して、財政硬直化が進んでいること、繰越額の多さから、事業の速やかな執行とならない要因の一つに、正規職員の絶対数の不足が考えられること、同和対策事業特別措置法の失効にもかかわらず、同和関連事業に2470万円が使われていること、市道甲西駅美松線、市道吉永山手線など、市民からの要望が高い道路改良が計画通りに進められていないことなどの理由から反対する。

賛成討論

決算は、おおむね良好と認められる。

歳入は、市税や分担金及び負担金等の増により自主財源比率が前年度より0.6ポイント増えており、その要因の一つが、市税などの収納率の増加に関わる職員の努力と解され、さらなる確保を期待する。

しかし、歳出においては、義務的経費の扶助費や公債費が前年度より増加し、経常収支比率が上昇して、財政の硬直化が進んでいる。次年度の予算編成に向けて、歳入確保と歳出抑制が大きな課題であり、事業を精査し、事業の削減や縮小による思い切った歳出抑制が望まれる。決算審査の課程での意見が、次年度の予算編成や予算執行において配慮されることを望む。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市国民健康保険特別会計

主な質疑

問 特定健診受診率の状況や今後の対策、医療費削減につながるシエネリック医薬品の使用率は。

答 健診の受診率は下がったが、受診後の特定保健指導、未受診者への勧奨、会場（ここぴあ）や実施曜日（日曜日）の工夫などの努力をしていく。ジェネリック医薬品の使用率は77・3％で県内3位。

反対討論

平成30年度から国民健康保険は県域化となったが、本来、市町が状況に応じて施策をとってきたので、県域で一律にしても改善されることはない。低所得者層に滞納が増えており、基金を運用しての軽減策をとる決算にない。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市国民健康保険診療所特別会計

主な質疑

問 診療収入の中で、外来収入が大幅に減っている原因と、診療所の現状や今後の運営体制のあり方は。

答 医師の体調不良などによる患者数の減少で収入減となっているが、労働衛生センターは平成31年度には新任医師の着任を要望している。石部医療センターは市内開業医の高齢化で小児科医の不足が予想され、不採算部門であっても続けていく。

全員賛成で認定

平成29年度湖南市後期高齢者医療特別会計

主な質疑

75歳以上の被保険者数は増加傾向にあり、今後の保険料を見据えて、健康寿命を延ばすための政策に力を入れていきたいとの説明がありました。

反対討論

国民健康保険から外して新たに後期高齢医療制度とした国の施策に反対する。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市介護保険特別会計

主な質疑

問 介護保険計画策定及び介護予防や生活支援サービス、医療介護の連携は。

答 働きながら介護する人への対策としては、小規模多機能型サービスを増やすこと、医療介護の連携には訪問診療のできる医師の確保が今後の課題である。

反対討論

高齢で要介護の人が増え、現役世代にとっても制度は不安である。利用者の負担増に対しては国の制度そのままではなく市独自の支援などが決算にあらわれていない。

賛成多数で認定

平成29年度湖南市訪問看護ステーション事業特別会計決算

主な質疑

単年度収支は前年度に比べ大幅な収支改善が図れた、との説明がありました。

主な質疑

問 在宅看取りへの対応や職員体制は。

答 重症の利用者が多くなっている。看護師が不足しているが、使命感を持ってがんばってもらっている。

全員賛成で認定

平成29年度湖南市水道事業会計剰余金の処分及び決算

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填したとの説明がありました。

主な質疑

問 水道老朽管の更新状況と、地震発生時の対応や新たな水源確保についての考え方、ま

主な質疑

た、民営化についての見解は。

の利子補填をしている。全員賛成で可決及び認定

答 石部地域は順次耐震化管に更新していく。地震時の対応は、自己水は安定性が課題で、水口からの上水管で確保していく。収益のあがらない事業なので民営化は難しい。

全員の収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、建設改良積立金で補填した、との説明がありました。

平成29年度湖南市下水道事業会計剰余金の処分及び決算

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、建設改良積立金で補填した、との説明がありました。

主な質疑

問 一般家庭や事業所における水洗化率の進捗状況と普及対策は。

答 水洗化率は93・9％。未接続世帯、事業者の追跡調査をし、接続見込みのあるところは勧奨、貧困世帯には融資

議会改革推進特別委員会

報告

(タブレット導入)

- ・膨大な資料のペーパーレス化
- ・情報伝達の円滑化
- ・危機管理上の緊急連絡
- ・各種資料の閲覧
- ・政務調査活動（インターネット）

9月議会から議場または委員会の会議室に議会が指定するタブレット型端末の持ち込みが可能となりました。



タブレットの写真

庁舎整備特別委員会

第12回特別委員会を開催しました。今回の審議内容は、次のとおりです。

市からは、冒頭庁舎整備基本計画では、新

庁舎の位置は、現庁舎をできる限り利用し建設できる位置とし、旧給食センター、車庫の跡地としていた。同時に環境に配慮した庁舎

としてエネルギー消費量を限りなくゼロにするゼロエネルギービルの実現方針としていた。基本計画では南北軸としていた建物の配置は、プロポーザル方式により選定した設計業者から環境先進庁舎として西日の負荷軽減の大きい東西軸配置が提案され、ランニングコストや建築工事においても施工費が安価になることが判明しました。

市民ワークショップでの意見も東西配置に賛成の声があったため、

東西配置計画案としてと説明、その後、市民ワークショップなどの結果、新庁舎平面計画、今後の進め方について説明がありました。

委員からは、基本構想・基本計画策定を経て現在、基本設計業務を進めているが、今年4月の議会から市長への提言を受け、財政計画・西庁舎周辺整備計画も併せて進めるべき、実施計画は基本設計業務終了後に着手すべき、新庁舎の位置について南北から東西配置への変更の計画の時期は、基本設計案について議会の意見反映は、現在の基本設計事業費総額は、浸水対策として敷地の嵩上げは、といった質疑があり、当局からは、財政計画や西庁舎周辺計画も併せて議会とは丁寧な議論に努めていく、実施設計業務については、基本設計

完了後、速やかに着手していききたい、新庁舎の配置は、前回委員会では確定していなかったため、今回での提案とした、基本設計案に議会意見は取り入れていく、事業費総額は現在、算定中である、浸水対策として、地盤を嵩上げする計画で、基本設計案については議会の同意を経て、パブリックコメントで市民の意見を聞き、基本設計書を取りまとめたこととの答弁がありました。



【新庁舎基本設計案イメージパース】

予算常任委員会

■議案第57号

平成30年度湖南市一般会計補正予算(第5号)

債務負担行為として庁舎整備事業実施設計業務委託8600万円が補正予算として計上されており、基本設計が完成したのちに実施設計ということであるが、基本設計がどういう状況にあるのか市民や議会にも十分に説明が伝わっていないのではないかと質疑に対し、基本設計の完成は本年10月末になるが、市民の意見を聞くためにこれまでワークショップを3回開催したことの答弁でした。

反対討論

基本設計が市民にも議会にも説明のないまま実施設計の予算提出には反対することとした。

賛成討論

特に歳入面で、普通交付税が約4億円増額

となり、市債発行は臨時財政対策債として約1億8000万円、繰越金が約2億1600万円ありました。歳出面では、特に財政調整基金の取り崩しをやめて、基金が4億3000万円、その他をいれて合計約8億3000万円。歳入が約8億円とすると、健全な補正予算となります。

賛成多数で可決

■議案第58号

平成30年度湖南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

療養給付費等負担金返還金4068万9千円や積立や予備費に充てていることは、医療費の減額が原因であると思われるが、今後の動向についてはとの質疑に対し、診療報酬改定や被保険者数の減少により医療費が少なくなった。今後の見通しについても被保険者の

減少の方向性は否めなため、新薬の影響がない限り医療費の伸びはないと考えるとの答弁でした。討論はありませんでした。

全員賛成で可決

■議案第59号

平成30年度湖南市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

労働衛生センター診療事業、石部医療センター診療事業での機械器具備品のうち内視鏡システムの購入金額が違うのはなぜかとの質疑に対し、内容は同じだが、個数の違いであるとのこと。また、医療機器の初期購入にかかる整備計画、償還計画はどうかとの質疑に対して、医療機器は通常5年返済であるが10年は使うスパンで考えており、十分採算が取れているとの答弁でした。討論はありませんでした。

全員賛成で可決

■議案第60号

平成30年度湖南省後期
高齢者医療特別会計補
正予算(第1号)

質疑討論はありませんでした。

全員賛成で可決

■議案第61号

平成30年度湖南省介護
保険特別会計補正予算
(第1号)

認定調査委託3万6

000円について、県
外や県内の遠方での認
定調査の対象件数が増
えていくのかとの質疑
に対し、遠方の方が増
えるかはわからないが、
子どもが親御さんを引
き取り、自分の居住地
の近くの施設に入居申
し込みをするという方
が今後も増える見込み
であり、また新規の方
区分変更の方が去年よ
り増えているとの答弁
でした。討論はありま
せんでした。

全員賛成で可決

総務常任委員会

委員長 報告

た委員会は年2
回開催を予定
し、委員の身分
は、非常勤特別
職で1回に付き
6000円の報
酬を予定してい
るとの答弁でし
た。

■議案第54号

個人市民税の非課税
範囲や基礎控除の見直
し、法人の法人市民
税に係る電子申告の義
務化、加熱式たばこの
課税方式の見直しと紙
巻たばこ税率の引き上
げなどについての改正
です。改正に伴う税収
の見込みについてはと
の質疑に対し、当初は
減税対象者が多くなる
と見ていたが、全体の
税額の変動への影響は
少ないと考えるとの答
弁でした。

■議案第56号

福祉関係の条例の題
名を短縮するための改
正です。特段の質疑は
ありませんでした。

■議案第72号

湖南省が施工する道

路整備事業の道路用地
として使用するため、
岩根東区他が有する旧
慣使用权を廃止するも
のです。昨年9月の総
務常任委員会での提言
を受けて作成した、「湖
南市村中名義等財産の
処分に関する要綱」の
平成30年8月1日告示
後、最初の案件です。

⑤「自由提案」はあるものの、用意された「課題」にどう取り
組むか不安があるが、5年後・10年後・その先も継続する
企業へ、地域を巻き込んだ企業になることを期待する。

地域まちづくり協議会交付金事業

地域の特徴を活かしたまちづくりには、今後も必要な事
業であり、地域主体の地域まちづくり協議会運営は、湖南
市まちづくりに重要な施策・事業である。

- ①各まちづくり協議会の役員さんは、真剣に事業運営に取り
組んでいる事は大いに評価しますが、予算ありきでは
なく、事業実施主体のまちづくり協議会運営を期待する。
- ②7つのまちづくり協議会が会長だけでなく、お互いに交
流を図り、相互理解することで、事業取り組みの温度差・
足並みの乱れが解消することを期待する。
- ③市が決められた事業以外への取り組みも拡大していいの
ではないか。
- ④各まちづくり協議会の中期計画の出し方、事業のお金の使
い方などを、再度検討する時期に来ているのではないかと。

事業評価について

ローカルベンチャー事業

Next Commons Lab (以下「NCL」という。)に、業務委
託している事業であるが、「地域を重んじた」将来志向の事
業である。

- ①NCLに、人選やベンチャー事業の選択についての委託で
あり、執行部が想定している思いが事業内容や事業の進
捗ペースに反映しているか疑問である。
- ②一度起業したら、数年で消える事が無いよう、30年は継
続する企業であることを望みます。NCLも、企業の立ち
上げだけでなく、この点をしっかりと踏まえて推進して
いただきたい。
- ③湖南省地域活性化事業であり、その一部分が委託先NCLの
事業である点を執行部は改めて認識していただき、遅れの
無きようスケジュール感を持ち、推進して欲しい。
- ④地域を巻き込み共に成長する企業になるよう、執行部の
指導を期待する。

福祉教育 常任委員会

審査についての報告 議案第55号

員会審査結果を報告します。

今回の条例改正は国の上位法の改正によるもので、市にとってもメリットがあるとの説明を受け、質疑を行いました。

この条例で市が単独で取り組んでいる内容があるのか、市にとってのメリットとは具体的にどのような部分なのかという質疑に対し、市が単独で取り組んでいることは無い。家庭的保育とは5人以下の幼児を預かっている保育所で、認可を取ってもらうことから、市の監督、安定した保育が提供できるメリットがあると答弁。上位法の改正によるものだけでなく、条文、条項で不具合な表現を市全般の条例についても整理したのかとの質疑に対し、議案第55号にかかる条例改正で何力所が不合理な部分についてのみ直しましたとの答弁。改正文中における字句の間違いを指摘し訂正された議案書により質疑を行いました。

湖南市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についての委

全員賛成で
可決

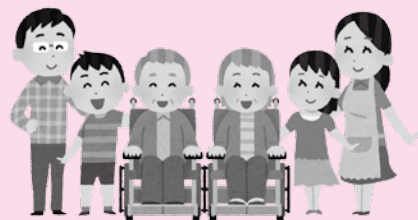
事業評価について

石部小学校グラウンド芝生化事業

石部小学校近隣民家へのグラウンドの砂埃対策として、グラウンドの芝生化が計画されました。平成29年6月学校関係者や地域住民の協力で見事に芝生化が完成されました。子どもたちが休み時間にグラウンドで遊んだり、外に出ることが多くなったと聞きました。事業の継続は単に芝生の管理業務だけに留まらず地域住民と学校との協働をさらに拡充されることに期待するものです。現在、「石部小学校校庭の芝生を育てる会」が石部小学校運営協議会、石部学区まちづくり協議会、石部小学校PTA、スポーツ少年団で組織され、年間60万円の委託契約となっています。各団体の構成員が当番制で芝の維持管理に従事していただいているが、学校施設の維持管理を地元団体のボランティアにそのすべてを依存することには検討の余地があると思います。市も今後の課題として、委託内容を見直し、ボランティアとして継続可能な内容を検討するとともに、市の責任で維持管理体制を検討すべきではないでしょうか。

安心応援ハウス事業

高齢者の心身の健康を維持し、寝たきりや閉じこもりを予防する。高齢者が地域で安心して暮らせることを目指しています。市内の各区では、これまで、事業の目的、内容の捉え方がまちまちであり、今年度から開催回数に応じた補助金体制が採られたことから、各区では混乱があります。事業の目的、内容について、今一度事業の趣旨を理解してもらえるようにすべきだと思う。実施については広域でなく狭域、できれば各区において数力所の拠点設置が求められます。新設の事業に「100歳体操」を含めるとのことですが、すでに実施されているサロンとの公平性にかけることから慎重な対応が求められ弾力的に運用すべきではないでしょうか。



公立甲賀病院組合議会定例会

望月 卓

■議案第6号

地方独立行政法人公立甲賀病院中期目標を定めることについて

- ・平成31年4月1日地方独立行政法人化に伴い定める
- ・期間は4年

全員賛成で可決

■議案第7号

滋賀県市町村職員退職手当組合からの脱退について

- ・地方独立行政法人化に伴い脱退し、独自で職員退職手当を行う。
- ・脱退により、33億6千万円の還付がある。
- ・(株)エムテック(専門業者)試算によると独自では、35億円必要
- ・不足する1億3800万円は、内部留保金より補填する。

全員賛成で可決

■議案第8号

平成29年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳

出決算の認定について

歳入

2406万9068円

歳出

2370万1130円

翌年繰越

36万7938円

全員賛成で可決

■議案第9号

平成29年度公立甲賀病院事業会計決算の認定について

病院事業収益は、108億5185万6713円。入院患者数は増加、外来患者数は若干減少しましたが、診療単価増により前年度比より1.1%増。病院事業費では、前年度比0.4%の増加。当年度純損失は1億7916万4684円となります。

全員賛成で可決



産業経済 常任委員会

議案第73号

市道路線の 認定について

市道1363号路線
(仮称)岩根東線として、
岩根字南側地先を起
点とし、終点の岩根字
東地先までの延長77m、
幅員4mを市の認定道
路として決定する議案。

議案第57号平成30年
度湖南省一般会計補正
予算、議案第72号旧慣
使用権の廃止と関連す
るものです。

問 岩根字東地先側に
設置されているカーブ
ミラーと防火水槽の間
において幅員の4mが
確保出来るのか。

答 現状でも確保出来
ますが工事
と合わせて修
繕等の対処を
行います。

全員賛成で
可決

事業評価について

農家レストランの完成を控え、みらい公園こなん構想をより効果的に進めるために農業関連2事業の事業評価を行いました。

市民農業塾実践編実施事業 849千円

野菜の定植から管理、収穫、直売所への出荷といった一連の販売農家としての業務を実践。事業目的は「ここぴあ」への出荷者の創出、農業後継者不足の解消、健康づくり、生きがいづくりの場として実施し、就農人口の増加につなげる。平成29年度では、合計8回。白菜、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの栽培を行い販売会も行った。

【事業評価結果】

地方創生加速化交付金を活用した市独自の事業で平成30年度、31年度と実施する予定の事業。改善すべき点としては、専門農業と市民農業(老、福連携)との線引きを意識すること。生産作物の流通システムも研究すること。費用対効果を高めるため広報を充実すること。花、果物などの講習も検討すべきことが挙げられる。以上は継続実施される中で留意して頂きたい。平成32年度以降は民間委託の可能性を含め、市として継続実施を行うべきである。みらい公園こなん構想は、大規模投資事業であるため、負荷にならず明確な効果を得ることが出来るよう期待している。

産学官連携事業 3,499千円

県内立地大学の農学部や市内立地企業と連携し、新たな特産農産物に繋がる作物の研究や6次産業化を図るための加工品の開発を行い、対外的に発信力のある特産品を確保する。平成29年度では打ち合わせ協議を5回開催。龍谷大学農学部と連携し、エンサイ栽培と養蜂を選出し、現在調査研究中。

【事業評価結果】

地方創生加速化交付金の期限が切れた後は大きく見直すべき事業である。理由として産業の結び付きが薄く、官学の連携ばかりが目立つ。みらい公園こなんとの関連事業となるが、農業収益を追求する手法探しは、県、もしくは広域、民間でおこなうことが効果的ではないかと思えます。大手企業が大量に求める食材を広域で生産することにより効果的な農業に寄与するのではないのでしょうか。実施内容では、大学のゼミ任せ、室内学習的な流れが気になります。現地に赴くなど湖南省市と関連深く地域性の高い事業として取り組むことが必要ではないかと感じます。今後は、産業主導のもとで結果につながることを期待します。



甲賀広域行政組合議会定例会

菅沼 利紀

■議案第6号

平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入 36億2708万円

歳出 35億7355万円

歳入歳出差引額

5352万1千円

歳入

前年度から8686万6千円の2・23%の減。収入の79・05%を占める構成市の負担金は28億6711万5千円、湖南省市9億9586万円、甲賀市18億7125万5千円(前年度から1407万1千円増となりました。使用料及び手数料は4億4083万6千円の1・4%増、ごみ処分手数料の増加を主な要因とするものです。

歳出

目的別で見ると衛生費が10億5379万8012円で全体の29・49%、消防費が19億4276万1177円で

54・36%を占めています。地方債償還に関わる元金、利子である公債費は4億7594万5987円で13・32%となっています。

性質別で見ると人件費が17億7213万4269円で歳出全体の49・59%、物件費(業務委託料、電気使用量料、燃料費、薬剤費など)が6億7503万7354円で18・89%を占めている現状です。

全員賛成で認定

■議案第5号

市税の滞納繰越分の整理に関する事務が廃止されたことによる条例改正です。

全員賛成で可決

■議案第7号

滞納整理事務の廃止による人件費などの減額が計上された一般会計補正予算も提案されました。

全員賛成で可決



警報が出た時など迅速な避難を！

湖南省公明党議員団 ● くわはらだ 美知子 議員

問 土砂災害の特徴について。

答 「がけ崩れ」は傾斜度30度以上である土地が崩壊する現象であり、「土石流」は山腹が崩壊して生じた土石などが又は溪流の土石などが水と一体となって流下する現象であり、また「地滑り」は、土地の一部が地下水などに起因して滑る現象又はこれに伴って移動する現象です。本市には地滑りに該当する箇所はありません。

問 警戒区域・特別警戒区域について、市の危険箇所数は。

答 市内全体で急傾斜149箇所、土石流138箇所があります。

災害時の備蓄品に国産の液体ミルクを検討してはどうですか。



答 液体ミルクは、災害時有効な備蓄品になると考えられます。これからの課題や条件整備などを精査し備蓄できよう進めていきます。



液体ミルク

問 高齢者肺炎球菌ワクチンを接種できなかった市民を救うための対策として一年間に限って救済措置を取るべきではないですか。

答 昨年度までに接種できなかった市民を救済することは、定期接種外であり任意接種となります。たとえ一年間の救済措置期間であっても、予防接種事故が起これないとは限りませんので、任意接種について市の責任における接種とするのは難しいです。



1日も早い石部駅のバリアフリー化実現を

議会改革ネットワーク ● 赤祖父 ゆみ 議員

石部駅舎改修に関する進捗状況

問 デザインパースの公開時期と、今回の駅舎案の修正内容は。

答 石部駅舎・自由通路のデザインパースは、JR西日本との協議を進める一つの資料で、その公開時期は、基本協定締結後、協議が整った段階を考えています。駅舎改修は、利用状況を勘案して、改札の位置を橋上から地平に変え、さらに関連する内容の修正で、石部の特徴を駅舎でアピールできるように構想を練っていきます。



整備が待たれる石部駅

(仮称)みらい公園魅力発信拠点施設を核とした地域好循環実現計画について

問 農家レストラン「HAT」を含む好循環をどう創りますか。

答 チャレンジ農園、農業塾生を本格就農に繋げながら、生産者の顔が見え、安心安全で新鮮な地元の朝採れ野菜やそれらを用いた加工品を「ここぴあ」で販売し、「HAT」にて食事の提供を考えていきたい。GAP認証の研究、修会を開催しながら、全体で約100名の農業生産者にも出荷を呼びかけていきます。

こなんTHEボイスの今後の進め方

答 15名の市民音楽健康指導士にも活動いただき、全庁的な取り組みとして、健康寿命の延伸に繋げていきたい。土砂災害防止法に基づく基礎調査結果についての見直しは

答 今後、市民に周知し、防災マップの変更作業を行っていきます。



熱中症対策、命に関わる 問題として対策を

日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

- 問** 今夏は記録的な猛暑。今年6月、国は4月以降の新規生活保護世帯のエアコン設置に5万円の補助を出す通知しました。全ての生活保護世帯を対象にするよう国に求めること。生活困窮家庭に対して、市独自の設置補助制度を創設する見解は。
- 答** 以前の受給中の方は、買い替えを含め、生活費のやりくりか貸付金の活用によって賄うべきと考え、全ての生活保護世帯に扶助を国に求める事も市独自支援も考えておりません。
- 問** 保護世帯のエアコン設置状況の調査は。
- 答** 現在、定期訪問時や収入申告等で来庁された時、電話により設置の有無の確認を進めています。
- 問** 生命にかかわる深刻な問題です。電話連

平成29年度結果	対象者	受診者	受診率
成人健診		444人	3.10%
特定健診	8,582人	3,570人	41.60%
肝炎ウイルス検診	762人	86人	11.30%
胃がん検診	30,570人	877人	2.90%
肺がん検診	30,570人	450人	1.50%
大腸がん検診	30,570人	1,679人	5.50%
乳がん検診	15,291人	1,400人	18.80%
子宮がん検診	21,435人	1,643人	15.70%

- 絡で調査し、迅速な対応が必要ではないか。
- 答** 迅速な対応ができてなかったと反省しています。
- 問** 電気代を心配し、使用をためらうという方がおられます。夏季加算が必要では。
- 答** 光熱水費は、冬季加算が設けられています。夏場に電気代が高くなる想定はできるのですが、家計のやりくりで賄うべきと考えます。
- 健康寿命延伸のための健診・検診の受診率は**
- 答** 胃がん、肺癌、大腸癌の受診率は、県内の中で低い状況です。



庁舎建設は何よりも 市民と職員の命を守ること

日本共産党湖南省議員団 ● 立入 善治 議員

- どうなる会計年度任用制度の導入で職員の働き方は？**
- 問** 地方公務員法・地方自治法の改正、会計年度任用制度の導入影響について伺います。
- 答** 大きく自治体職員の働き方が変化することはありません。
- 庁舎建設で概算工費は53億円を予定**
- 問** 庁舎整備計画について現時点での到達点を伺います。
- 答** 複合化施設は、保健センター、中央まちづくりセンター、集約化は、サンライフ甲西、西庁舎の行政執務機能を予定。概算工費を53億円と予定。東庁舎は旧耐震基準で建築、震度6強から震度7で倒壊の危険性があると診断。阪神淡路大震災の際に東庁舎壁面にクラック、大阪北部地震でさらにクラックが拡がり、直下型地震が起きれば建物倒壊の危険性が懸念されています。
- 問** 財政の硬直化が言われているが、今後の財政計画はどうなりますか。
- 答** 複合庁舎整備は大型事業であるが、これまでも学校改築に25億円、甲西橋に20数億円、そういった規模感だということ。起債の償還については一時的に2021年ごろに償還のピークを全体として迎える。その後は減少していく。限られた財源の有効活用が大事です。
- 今こそ、ウツクシマツの保護・育成を**
- 問** ウツクシマツの保護・育成について
- 答** ウツクシマツ自生地保存策定委員会で保存管理の方向性を検討し計画を策定していきます。



防災体制の充実について

無所属の会 市民の力 ● 奥村 幹郎 議員

消防団の環境整備

問 滋賀県消防操法訓練大会において毎年優秀な成績を収めている湖南市消防団の夜間練習の照明等設備について。

答 活動助成金の活用で工夫いただきたい。

問 なり手不足、高齢化等が課題とされている消防団員の現状について。

答 定数300名に対し293名。積極的に推進するなど啓発に取り組んでいきます。

問 地域防災力向上に大きな力になり得る女性消防について。

答 現在一名の団員に活動いただいています。女性の視点、力が必要です。活性化にむけ検討に取り組みます。

災害ボランティア支援

問 災害ボランティアに参加意



8月5日の大会

欲のある市民への案内（告知）方法について。

答 市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して、支援の方法などを検討します。

防災士の活動状況

問 防災士の活動状況について。

答 地域・施設の防災リーダーとして啓発・訓練などで活動いただいています。

ハザードマップ

問 災害ハザードマップの見直し計画は。

答 県の浸水想定警戒区域・土砂災害警戒区域見直しに合わせて順次改定していきたいと考えます。

保育園の民営化は、 ていねいな説明と周知を



議会改革ネットワーク ● 植中 みやこ 議員

問 平成32年4月から
の保育園民営化には、
保護者や現場に不安の
声が大きいが、具体的
にどう変わるのですか。

答 待機児童の解消をはじめ、休日保育、一時預かり保育などのニーズ対応、地域の子育て支援の充実のために、公立保育園などの再編を進めています。中学校区ごとに一つの公立園を残し、子育て世代包括支援センターの役割をします。長時部（保育所部分）の保育料の変更はなく、短時部（幼稚園部分）は現在の保育料がベースになります。待機児童は4月1日現在で27名ですが、定員70人の民間保育園の整備を進めています。土曜保育は中学校区で継続運営する4公立園で実施する予定です。子どもへの影響を最小限にするため、合同保育の移行期間や保

護者・事業者・市の話し合いの場を設置し、子ども家庭局内に定期的な情報交換や保護者からの意見を聴く窓口を置くなど、民設民営でありながら市の関与を明確にします。民間事業者の応募のない保育園などは公立で継続します。職員は民営化実施時に公立園などに異動します。保護者説明会の開催も考えています。

被害を最小にする防災・減災対策

答 土砂災害警戒区域内にある高齢者施設3カ所、幼稚園2カ所では避難計画を作成し、訓練も実施しています。福祉避難所は、21事業所と協定しており、平時からの準備や調整の協議を進めます。ため池は36カ所あり、非常時の連絡体制は整備しています。



早期の石部駅改修と 西庁舎の周辺整備を！

誠心会 ● 小林 義典 議員

石部駅改修と西庁舎周辺について

問 石部駅の改修と周辺整備の進捗状況について。

答 駅舎の改修につきましては、平成32年度末に明記されているバリアフリー法に基づき、JRとの基本協定に向けて進めています。

北口駅前広場については、北口に改札口を設けて、整備をする旨を、当該地権者に説明しています。

問 東庁舎の建て替えに伴い、西庁舎の取り扱い。

答 平成33年度に西庁舎にある行政執務機能を東庁舎へ移す予定をしています。平成32年度末に新庁舎の完成を目指していることから、公共施設等マネジメント推進委員会を今年度に立ち上げます。また、市民の皆さんに寄り添い、十分に意見を聞き

ながら、進めていきます。

災害における市の対策は

問 防災マップは、市民の皆さんに周知できていますか。

答 現在の防災マップは平成27年3月に作成し、全戸配布しています。また平成30年3月に避難行動のガイドラインが変更になったため、一部変更をして増刷しています。

問 災害が起こった時の備蓄品はどの程度ありますか。

答 変動はあるものの、備蓄品を備えています。

備蓄品一覧表

乾燥米	8000食
乾パン	6840食
ビスケット	1200食
シチュー	1630食
計	1万7670食
保存水	500ml×7727本
計	3864ℓ

全国学力テスト活用と ふれあい相談室



誠心会 ● 上野 顕介 議員

全国学力テストの活用について

問 毎年行われる小学六年生と中学三年生を対象とした全国学力テストについて、滋賀県は全国で都道府県別で最下位付近ですが、湖南市は全国平均と比べてどうでしょうか。

答 正答率は非公表にしていますが、全国平均を下回っています。

問 全国平均の義務教育水準を保持してほしいと思いますが、家庭環境も背景にあるのですか。

答 湖南市では「家庭で計画的に勉強時間を確保できている」とアンケートで答えた数が全国平均を下回っています。

勤労青少年ホームとふれあい相談室について

問 吉永にある勤労青少年ホームが今年度で廃止されるとのことですが、同施設で行って

いるふれあい相談室はどうなりますか。また、ふれあい相談室の説明をしてください。

答 ふれあい相談室は学校に行きにくい児童生徒が学校復帰を目指すところです。同施設の廃止後は他の施設で行うこととなりますが、行先は未定です。

問 80代の親が引きこもりの50代の子の経済的精神的面倒を見ているうちに共倒れするという8050問題に、政府が対策の端緒として今年から実数調査をするという状況の中、ふれあい相談室の今後の位置づけは。

答 ふれあい相談室は引きこもりの重要な予防措置になります。



勤労青少年ホーム



安心安全なまちづくりについて

無所属の会「市民の力」 ● 望月 卓 議員

問 今年の夏は、天候不順や降り出してから降雨量が千mmを超す異常気象が起こっています。市内の河川管理の現状は。

答 市内の河川に関する管理は、荒川、由良谷川、家棟川、落合川は県が管理している一級河川です。例年、当河川は地域から要望をいただき、県に対し、随時要望を行い、適正な河川管理をお願いしています。県からは、現地確認を行い、状況や緊急度に応じ対応していく旨の回答をいただいています。落合川は、下流側が天井川となっており、ひとたび氾濫が生じた場合の被害が甚大となること予想されるため、県の河川整備計画に基づき、早期に治水安全度の向上を図れるよう整備要望をしているところであります。今年度の工事とし

ては、荒川は、三雲地先での護岸の嵩上げを、落合川は、東寺地先の河川断面を侵している竹の伐採、由良谷川から家棟川および宮川においては、除草を行っていたいただきました。今後引き続き、対応が不十分な箇所の改善要望を行い、適切な維持管理を行うよう求めていきたいと考えています。また、大砂川の浸

す。また、大砂川の浸漑、茶釜川や他河川においても補修等対応していただき、河川として安全に流れ、十分な機能発揮ができるよう管理者である県に対してお願いしていきます。



増水時の流速は…家棟川



地域医療の充実!! 診療所の現状と今後の方針

無所属の会 市民の力 ● 堀田 繁樹 議員

問 市の医療の現状と課題は。公的医療機関の推進体制や施設の老朽化対策について。

答 市立診療所を4か所直営で運営、身近な医療を提供しています。患者数は、岩根診療所と湖南労働衛生センターで減少していますが、岩根診療所は、一次医療提供のため今後も運営継続していきます。現在、民間医療施設とも連携し、「こなん在宅医療推進ネットワーク」の構築に取り組んでいます。施設について老朽化はあるが、随時修繕等を実施しています。

問 健康こなんづくり現状と今後の方針は。

答 「健康こなん21計画」で分野ごとに目標値を設定し、事業実施しています。がん検診受診者数は伸びていますが、生活習慣病予防対策は不十分でした。

高齢分野では、百歳体操や健康カラオケなどを実施しています。要介護認定率は徐々に下がっています。



〈岩根診療所〉

問 在宅医療と介護連携の現状と対策は。

答 介護保険法で地域支援事業として位置づけられた8つの事業を市で実施しています。コーディネート

の配置で、退院後の在宅生活支援をしています。また、「こなん在宅医療安心ネットワーク」を設立し、開業医などとの連携で自宅での看取り体制を構築しました。

その他 災害時での医療体制、情報手段(防災ラジオ配備検討)を取り上げました。

一般質問



住民主体のまちづくりを 目指すためにⅣ

無会派 ● 大島 正秀 議員

危機管理の在り方について

問 大阪北部地震に対する市対応について助け合うことが当たり前の精神を前提として、枚方市にブルーシートを160枚支援し備蓄残が99枚となった。補充されるまでの間に地震が起きればどうするのか。何ら友好協定を結んでいない市・町と今後こういう問題が生じた時どういう支援体制を作るのか。

答 災害には市長のトップリーダーが重要である。市長の執行権の範囲内ですので指示、命令を発動しました。今年に入りまして災害の様相が大きく変わって来ておりますので、大規模災害の被災について災害様相の変化に対応して変化してきております。

問 西日本豪雨で倉敷

市真備地区に避難解除が出ない中、職員を夜中の10時過ぎに出動させるのは人道上無理があるのでは。

答 気象情報を確認し慎重を期して出発させ、朝方6時過ぎに無事倉敷市役所に救援物資を届けることが出来ました。



魅力発信拠点「HAT」の在り方 今後の運営について

答 当初は「こひびあ」での道の駅の認定を取る計画でしたが、諸事情により「HAT」で認定を取り、農産物の販売は勿論、地元野菜の料理を提供できる様になります。

アンケート調査 「100万人訪問・調査」から

湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員



子育て支援について

問 医療費助成制度の充実に向け、県への働きかけは。

答 県の助成制度として維持・拡充すべきものであると考えます。県内の格差解消に向けて、今後も市長会などを通じて要望し、国にも要望・陳情します。

問 子育てママの就労について。

答 女性の定着就労を目指したスキルアップ研修や資格取得講座を開催。（託児を実施）実践的なスキルを習得できる講座も開催。「フオークリフト運動技能講習など」

問 公立保育園等再編の計画について。

答 中学校区ごとに一つの園を公立園で存続させ、「子育て世代包括支援センター機能」の役割を担い、保育・子育て支援を公私連携型で、地域包括的に調

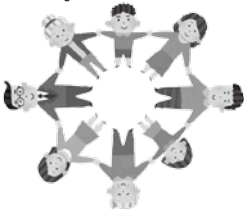
整・集約・コーディネートする。

介護予防事業の推進状況について

答 安心応援ハウス事業・こなんTheポイス・ボランティア活動・老人クラブ・文化サークル活動・健診受診・主治医の診察など、市は介護予防のきっかけづくりや地域での自主的な活動を応援する。

子どもたちの居場所づくりは

答 コミュニティスクール・放課後教室・子ども食堂・学習支援の取り組みなどありますが、今後、先進事例も参考にしながら、市民・地域・学校・事業所・行政などが連携して子どもたちが安心して集える居場所を作り出したい。



議 会 日 誌

- 【7月】**
- 3日—議会広報委員会
 - 6日—本会議[臨時会]
予算常任委員会
議会運営委員会
産業経済常任委員会
 - 13日—議会広報委員会
 - 18日—福祉教育常任委員会
議会広報委員会
 - 24日—決算常任委員会
 - 25日—総務常任委員会
 - 26日—議員全員協議会
議会改革推進特別委員会
- 【8月】**
- 6日—福祉教育常任委員会
産業経済常任委員会
 - 9日—総務常任委員会
 - 27日—議員全員協議会
 - 29日—議会運営委員会
議会広報委員会
 - 31日—議員全員協議会
本会議[定例会(1日目)]
- 【9月】**
- 7日—本会議[定例会(2日目)]
 - 10日—本会議[定例会(3日目)]
議会運営委員会
議員全員協議会
 - 11日—本会議[定例会(4日目)]
決算常任委員会
 - 12日—決算常任委員会
 - 13日—決算常任委員会
 - 14日—決算常任委員会
 - 18日—予算常任委員会
 - 19日—総務常任委員会
福祉教育常任委員会
産業経済常任委員会
 - 20日—庁舎整備特別委員会
議会改革推進特別委員会
 - 27日—本会議[定例会(5日目)]
議会運営委員会
議員全員協議会
庁舎整備特別委員会

平成30年12月議会定例会の仮日程をお知らせします

開会 12月3日(月) 閉会 12月21日(金)

<仮日程>

12月3日(月)	■本会議	提案説明	14日(金)	●委員会
10日(月)	■本会議	一般質問	17日(月)	●委員会
11日(火)	■本会議	一般質問	21日(金)	■本会議
12日(水)	■本会議	一般質問議案質疑		委員長報告 議案質疑
	●委員会			
13日(木)	●委員会			

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。市民の代表である市議会議員の活動や市政の方針などを、直接議場にてお確かめください。



◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は、前もって議事課へご連絡ください。

※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、11月末に議事課へお問い合わせください。☎0748-71-2347

本会議のインターネット中継を行っています

※過去の本会議や一般質問の動画もご確認いただけます。

湖南省議会

検索

会派異動について

平成30年10月15日付で、会派の解散、会派構成員の増がありました。

会派の解散 議会改革ネットワーク

会派構成員の増 無所属の会 市民の力 植中 都

赤祖父 裕美

〈議会広報委員会〉



左から松原栄樹議長、小林義典委員、松井圭子委員長、赤祖父裕美委員、堀田繁樹副委員長、細川ゆかり委員

編集後記

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と言われますが、その由来をご存知でしたか？
「スポーツの秋」は、昭和39年10月10日に東京オリンピックの開会式が開催されたからだといわれており、昭和41年からは、「体育の日」として国民の祝日として制定されました。
「読書の秋」は、秋の夜長を有意義に過ごすことから誕生し、脳を働かせるのに最適な気温14℃16度くらいが読書をするのに適した気候と言えるそうです。
「芸術の秋」は、ある雑誌の「美術の秋」という記載がきっかけで、加えて秋には大きな美術展(二科展・日展・院展)が続々と開催されます。
気候が穏やかで心地よいこの季節に、皆様も自分流の「秋」をお楽しみください。
議会広報委員 細川ゆかり